

## ▶ Race Report

### PETRONAS TWS GS350 2位 & 今季2勝目をマーク

21 October, 2012

#### PARTNERS

VAPSn XPEL  
Car Protection Specialist

TWS

信頼と安心のネットワーク  
OTG  
OSAKA TOYOPET GROUP

Asuka

PLAT2

Revit  
HIGH QUALITY CUSTOM PARTS

REIZ  
HIGH QUALITY CUSTOM PARTS

#### ■公式予選 【天候】 晴 【コース】 ドライ

スーパー耐久第5戦の舞台は、つい2週間前F1日本GPで小林可夢偉選手が表彰台に上がったばかりで、興奮もまだ覚めやらぬ鈴鹿サーキット。さらに今年もWTOCとFIA世界ツーリングカー選手権との併催とあって、スタンドには多くの観客が詰めかけた。

通常は3時間もしくは4時間の長丁場で争われるスーパー耐久だが、今回は1時間のレースを1時間35分のインターバルを挟み2回行う2レース制。それぞれのレース中、1回のドライバー交代と1回のタイヤ交換が義務づけられ、給油は禁止。普段は4時間レースを3スティントで走るが、今回は燃費やタイヤの消耗をセーブする事もないスプリント勝負となるだけに、これまでとは違った展開も予想された。

PETRONAS TWS GS350は最初のフリー走行セッションでセットアップを中心に周回を重ね、「最初はかなり外れた所にあったセットアップも、最終的にはそこそこ良い所までいきました。」と、ますますの内容でセッションを終了、その後の公式予選に挑む事となった。

今回の予選は、Aドライバー、Bドライバーのベストタイムの合算が第1レースのグリッドに、そしてセカンドベストの合算が第2レースのグリッドとなる。しかしAドライバー予選に出走した吉本選手は「昨日から変更した所があまり上手く機能せず、昨日のタイムを上回ることができませんでした。」と、マークしたタイムは2'18"420の4番手。セカンドタイムでも2'18"709で4番手となり、後をBドライバー予選の佐藤選手に託していく。

ここでPETRONAS TWS GS350はAドライバー予選を走った吉本選手からの情報を元にマシンのセットアップを変更。するとこれが功を奏し、Bドライバー予選に出走した佐藤選手はベストタイムで2分17秒台にのせる4番手、セカンドタイムでは3番手に着けるタイムをマーク。結果PETRONAS TWS GS350は第1レースを5番グリッドから、第2レースを4番グリッドからスタートする事となった。

#### ■決勝レース1 【天候】 晴 【コース】 ドライ

ロードレースでは初めての2レース開催となったスーパー耐久シリーズ第5戦決勝レース。まさに秋晴れというに相応しいコンディションの中迎えた決勝第1レースのスタート。そのスターティンググリッドには、今季最多となる49台ものマシンが並ぶこととなった。

朝のフリー走行では前日の状態からさらにセットアップを変更、佐藤選手と小林敬一の二人で周回を重ねたPETRONAS TWS GS350。するとここでの走行で前日の状態からさらにセットアップの方向性が見え始めたPETRONAS TWS GS350。レース1にはフリー走行の状態から若干車高をアジャストし挑む事となった。

第1レースのスタートは10時5分。ここから1時間後のチェッカー目指していくこととなる。このレースの戦略はスタートを吉本選手が担当し、後半を小林が走るというもの。するとスタートを担当した吉本はスタート直後から前を行くマシン数台をパス、一気に2番手にまでそのポジションを上げていく。さらに、予選までの展開では決勝序盤はトップのマシンから遅れを取る事も想像されていたものの、いざスタートを切り2番手に上がった後はなんとトップのマシンを上回るペースで走行を続けていく。

ところがその数周後、ヘアピンで出されていたイエローフラッグの影響で5クラスのマシンに詰まった吉本は、続くスプーンコーナーで後続のマシンに押し出される不運もあり、3番手に後退。それでもマシンの状態は決して悪くはなく、チャンスを伺いながら2番手のマシンにぴったりと着けていく。すると今度はその直後、レース9周目に2番手を行くマシンからホームストレート上で大きな白煙が上がる。マシントラブルでオイルが噴き出た為であったが、2番手のマシンはこれによりリタイヤ。すぐ後ろを走っていた吉本選手はすぐさまこれを避け減速、難を逃れたが、さらに後方から来たマシンはこのオイルに乗る形で次々とコースアウト。さらにレイジューンZ333のOSAMU選手が激しくクラッシュしたところでレースは中断、赤旗が出される事となり、結果PETRONAS TWS GS350は2位という結果でこのレース1を終える事となった。

#### ■決勝レース2 【天候】 晴 【コース】 ドライ

第2レースは当初の予定どおりピットウォークを間に挟んで12時20分にスタート進行が開始された。2台が不参加だった為、事実上クラス2番手からのスタートとなったPETRONAS TWS GS350。そのPETRONAS TWS GS350はマシンにレース1から若干のアジャストを加えこの第2レースをスタート。するとこのレースでもスタートを担当した吉本選手がまたしてもスタート直後から好走を披露。スタートからわずか数周でトップに浮上すると、その後も全く危なげのない走りですぐに2番手以降との差を広げていく。

さらに、レース後半に佐藤選手にドライバーチェンジを行った後もPETRONAS TWS GS350のペースが衰える事はなく、終わってみれば「思いのほか楽なレース展開になった(吉本大樹)」と、盤石の展開で見事今季2勝目をマーク。初優勝を達成した岡山国際ラウンドに続き、勝利の美酒を味わう事となった。

この勝利でシリーズランキング3位に着ける事となったPETRONAS TWS GS350。残るレースは九州で開催されるオートポリスラウンドのみ。初優勝以降は確実にトップ争いに絡む速さと強さを見せ続けているだけに、最終戦では今季3勝目、さらにはシリーズランキングでの更なる浮上が期待される。

12' Super Taikyu Series Round\_5 / Suzuka  
2012.10.20-21 (sat/sun) Qualify & Final

【OSAKA TOYOPET motor sports report】 <http://www.osaka-toyopet.jp/contents/motor-sports-report/>

【OTG Motor Sports Club blog】 <http://blog.zaq.ne.jp/otgmisc/>

【Super Taikyu Series Official Site】 <http://www.supertaikyu.com/>

【Keiichi Kobayashi Official Site】 <http://www.koba-pla.net/>



## ▶ 小林敬一 コメント

21 October, 2012

今回は予選タイムこそ他チームには劣っていましたが、レースセッティングはタイム的にも好調だったので良い結果が取れて良かった。

また、第1レース中に発生した事故によりOSAMU選手が逝去された事について、ご冥福をお祈りするとともに、お悔やみ申し上げます。

### PARTNERS

VAPSn XPEL  
Car Protection Specialist

TWS

信頼と安心のネットワーク  
OTG  
OSAKA TOYOPET GROUP

Asuka

PLAT2

Revit  
HIGH QUALITY CUSTOM PARTS

REIZ  
HIGH QUALITY CUSTOM PARTS



【OSAKA TOYOPET motor sports report】 <http://www.osaka-toyopet.jp/contents/motor-sports-report/>

【OTG Motor Sports Club blog】 <http://blog.zaq.ne.jp/otgmsc/>

【Super Taikyu Series Official Site】 <http://www.supertaikyu.com/>

【Keiichi Kobayashi Official Site】 <http://www.koba-pla.net/>